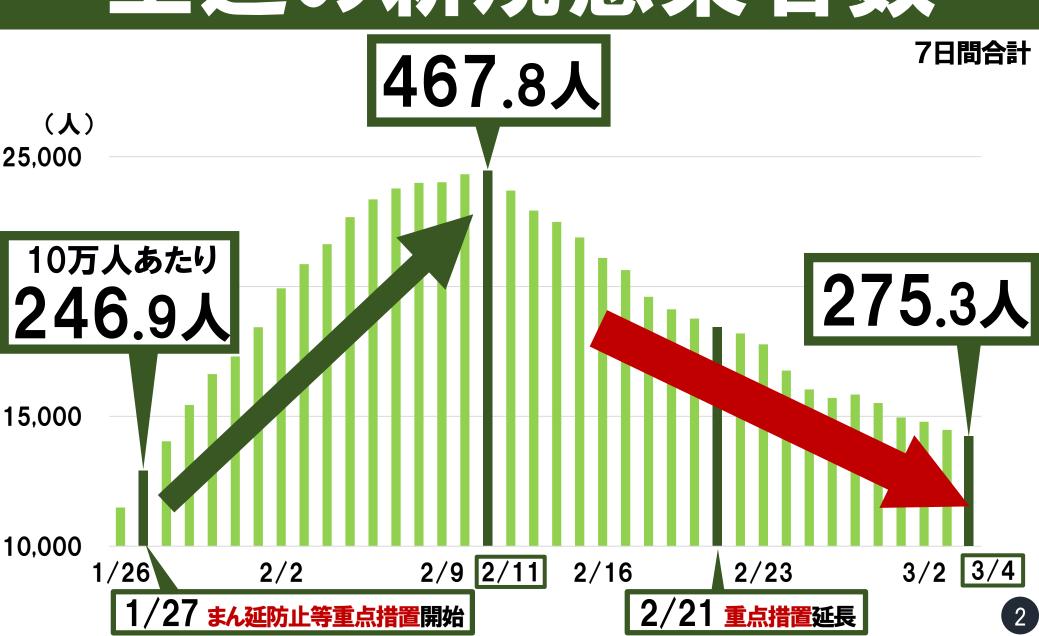
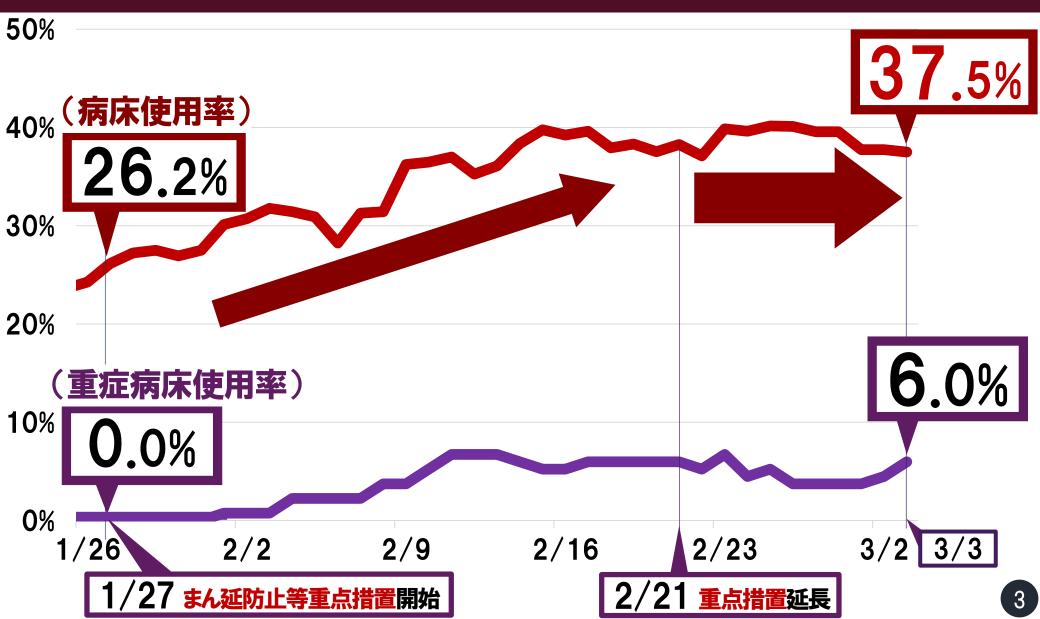
まん延防止等重点指置

全道の新規感染者数



全道の病床使用率



より感染力が強いオミクロン株 BA.2系統

(3/1、道内で初確認)

置き換わりが進むことで、 感染者の 再度増加が懸念

国の重点措置解除の考え方

新規感染者数)が継続して減少 しているか、低位の水準にある

病床使用率が概ね50%を下回り、下降傾向にある

など

予断を許さない状況

新規感染者数

- >1日平均2千人以上(全振興局管内で確認)
- より感染力の強いBA.2系統

医療への負荷

- 各地で医療機関等の集団感染
- 病床使用率は、全道で高止まり

まん延防止等重点活措置

対象全道域

期間 3/70~3/216

感染防止対策と

社会経済活動の回復の両立に向けて

徹底して取り組む2週間

17クチンの接種加速

- 2 治療薬の配置促進等
- 3無料検査の拡充
- 4第三者認証の取得促進
- 5感染防止対策の徹底

ワクチンの接種加速

3回目接種率

全国 22.9% 21.4%

(3/3現在)

3回目接種で期待される効果

個人の重症化予防、発症予防だけでなく、周囲への感染を防ぐの

道直営の集団接種会場「ホテル」

予約枠を拡大 1日 360人から420人へ

接種日

3/19(土) 3/20(日) 3/21(月·祝) 3/26(土) 3/27(日)

予約

3/5(土) 協 受付開始

治療薬の配置促進

経口治療薬登録機関

道内 全保健所管内 に配置

▶ラゲブリオ(モルヌピラビル)

全道で1644機関

トパキロビッド(ニルマトレルビル/リトナビル)全道で135機関

無料検査の拡充

無料検査事業所

道内 全保健所管内に配置

全道で606事業所

(人口10万人当たりの事業所数) 北海道 11.6 全国 7.4

いずれも無症状の方が対象となります

- ▶民間サービスの利用に当たり陰性確認が必要な場合
- ▶海外や道外に行っていたなど、感染の不安がある場合

第三者認証の取得促進

認証取得

道内16252件

(3/3現在)

※全道の対象(推計)3万件

(国の分科会)

ワクチンと検査を活用した

新たな行動制限緩和 のあり方について検討 認証取得等により

さらなる制限緩和のメリットにつながる可能性。

感染力の強いプミクロン株の特徴を踏まえた

感染防止対策の徹底

①感染リスクが高まる場面)

(2)感染が広がっている場所)

●感染リスクが高まる場面

基本的な感染防止行動

3密回避 マスク着用

王指消毒 換気 を徹底

※マスクについては不織布マスクを推奨

)感染リスクが高まる場面

飲食の場面

北海道飲食店感染防止対策認証店など

(感染防止を徹底するお店)

4人以内

短時間

深酒せず

(大声出さず)

(会話ではマスク)

飲食店等への要請

	営業時間	酒類提供	支援金 (1店舗ごと15日間分)
認証店 (いずれか 選択)	5~21時	11~20時	中小企業・個人事業者 37万5千円~112万5千円大企業 最大300万円
	5~20時	行わない	中小企業・個人事業者 45万円~150万円大企業 最大300万円
認証店以外	5~20時	行わない	中小企業・個人事業者 45万円~150万円大企業 最大300万円

▶<u>同一グループ同一テーブルは4人以内</u>

事業者の相談窓口(コールセンター)

011-350-7377

※土日祝も開設 8:45~17:30

2感染が広がっている場所

学校では

ト感染リスクが高い活動*は

行わない(例えば)・合唱やリコーダー

- •調理実習
- ・密集する運動など

学校独自の他校との 練習試合等は行わない 2感染が広がっている場所

保育施設では

- ト職員のマスク着用、 遊具の消毒など対策を徹底
 - と少人数に分割した保育
 - ト保護者参加行事の延期等 大人数での行事を自粛

2感染が広がっている場所

高齢者施設では

- >通所施設での動線分離
- 送迎車両における窓開け

オンラインによる面会

年度末・年度始めに向けて

就職や卒業・進学等に伴い 人の移動や会食機会 が増加

(感染防止対策を一層徹底)

まん延防止等量は活躍は大き

3/21(見まで